

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月17日

2005年5月15現在：

5月15日に終わる週に於いても前週に引き続き、各地に歓迎される降雨があった。Spokane郡の1部では豪雨の為休耕地の表土が流される圃場も発生した。1週間の州平均農作業稼働日数は4.6日(前週：5.5日)であった。平均気温は各地で平年を4~6度F上回った。1週間の降水量は乾燥地帯では0.73~1.54インチ、SE地区では0.35~0.53インチであった。Lincoln郡の全圃場が土壌水分不足の状態であったが、5月6日の集中豪雨と週末の降雨で、全郡の70%の圃場の水分が“適”となった。同郡の冬小麦及び春小麦の作柄は5月6日の降雨で大きく改善した。Adams郡でも週の初めと終わりに纏まった降雨があり、土壌水分が大幅に改善し、それに伴ない冬及び春小麦の作柄が改善した。Walla Walla郡、Whitman郡、Spokane郡でも週の初めと終わり降雨があり、冬小麦並びに出芽直後の春小麦に有効で有った。

冬小麦は平年より早い生殖成長を示し、全体の29%が出穂した。冬小麦の作柄は多少前週より改善した。春小麦の播種は完了し、82%で出芽した。春小麦の作柄は前週より著しく改善した。5月下旬から6月初旬迄同様な降雨と気温が続けば単位収量に期待が持てる。

土壌水分及び灌漑用状況 : 5月15日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	1	15	73	11
5-Yr Ave.	4	14	74	8
Subsoil (%)	9	40	50	1
5-Yr Ave.	2	22	75	1
Irrigation W.	6	11	83	0
Irr. Water Ave	0	3	96	1

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況 : 5月15日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Headed (%)	29	14	10	8
Spring Wheat Planted (%)	100	99	100	98
Emerged (%)	82	80	95	88

小麦の作柄状況 : 5月15日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat Dryland (%)	1	3	20	64	12
Irrigated (%)	0	0	5	80	15
Spring Wheat Dryland (%)	0	1	30	64	5
Irrigated (%)	2	1	18	75	4

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>